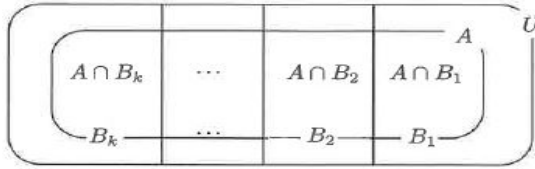
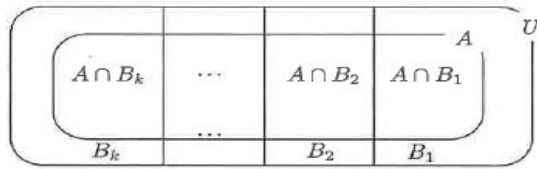


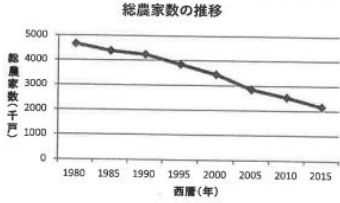
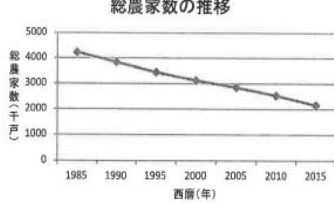
『改訂版 統計検定 3 級』2 → 3 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.87 3～4 行目	(略) 負の値を取ることがわかる。	(略) 負の値を取ることがわかる。 なお、 s_{xy} の定義における右辺の和は $\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})$ $= \sum_{i=1}^n x_i y_i - n\bar{x}\bar{y}$ と変形できる。
p.108 7 行目	1991 年	1911 年
p.130 図 6.5	 <p>図 6.5 全確率の定理の図解</p>	 <p>図 6.5 全確率の定理の図解</p>
p.214 14 行目	分差	分散

『改訂版 統計検定 3 級』3 → 4 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.11 図 1.4 下から 2 行目	<u>4</u> <u>8</u> <u>8</u>	<u>4</u> <u>6</u> <u>8</u>

『改訂版 統計検定 3 級』5 → 6 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.2 下から 7 行目	家計調査の世帯表	家計調査の世帯票
p.17 例題 1.2 1 行目	1980 年	1985 年
p.17 例題 1.2 表	表中の 1980 年と 4,661 を削除	
p.17 例題 1.2 表中 1985 年の部分	4,376	4,229
p.17 例題 1.2 表中 1990 年の部分	4,229	3,835
p.17 例題 1.2 表中 1995 年の部分	3,835	3,444
p.17 例題 1.2 表中 2000 年の部分	3,444	3,120
p.17 下から 1 行目	40 万戸	35 万戸
p.18 図		
p.141 下から 11 行目	$P(X = ax_i + b)$	$P(aX + b = ax_i + b)$

『改訂版 統計検定 3 級』 8 → 9 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.128 下から 2 行目 右辺の分子	$P(B)(A B)$	$P(B)P(A B)$

『改訂版 統計検定 3 級』 12 → 13 刷 正誤表

該当箇所	誤			正				
p.9 2 から 3 行目	この項目と性別を組み合わせると、 表 1.3 のようになる。			この項目と性別を組み合わせると、 表 1.3 のようになる。なお、この調査方法は 8.3 節で解説する標本調査であり、 標本の大きさは 179,297 人 (男性 85,299 人、女性 93,998 人) である。				
p.9 表 1.3	表 1.3 社会生活基本調査			表 1.3 平成 28 年社会生活基本調査				
		した	しなかった		した	しなかった	計	
	男性	62,695	22,604		男性	62,693	22,606	85,299
	女性	60,535	33,463		女性	60,517	33,481	93,998